松下電工お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、下記窓口へ

修理・部品などのご相談は「修理ご相談センター」

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-081-365（ハイ 365日）

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
【受付時間:月～金9:00～19:00土・日・祝9:00～17:00】

ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

○札幌修理ご相談センター　011-707-7210
〒060-0807　札幌市北区北7条西5丁目5番地3
札幌千代田ビル2階
北海道松下電工テクノサービス（株）

○東京修理ご相談センター　03-5392-7190
〒174-0041　東京都板橋区舟渡1丁目12番11号
ヘリオス　2階
東部松下電工テクノサービス（株）

○名古屋修理ご相談センター　052-551-7900
〒450-8611　名古屋市中村区名駅南2丁目7番55号
松下電工名古屋ビル北館8階
中部松下電工テクノサービス（株）

○大阪修理ご相談センター　072-878-8999
〒575-0041　大阪府四条畷市蔀屋新町3番41号
近畿松下電工テクノサービス（株）

○福岡修理ご相談センター　092-622-0531
〒812-0041　福岡市博多区吉塚5丁目5番32号
西部松下電工テクノサービス（株）

商品・お取扱いなどのご相談は「お客様ご相談センター」

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-081-713（ハイ ナイス）

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
【受付時間:月～金9:00～19:00土・日・祝9:00～17:00】

ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

○東日本お客様ご相談センター
03-3769-4820
FAX　03-3769-4984
〒108-8402　東京都港区芝4丁目8番2号

○西日本お客様ご相談センター
06-6946-2437
FAX　06-6941-4057
〒540-0001　大阪市中央区城見2丁目1番3号

ご注意　所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。　0204

お客様へ おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。	ご購入年月日	年　月　日
	ご購入店名	TEL.

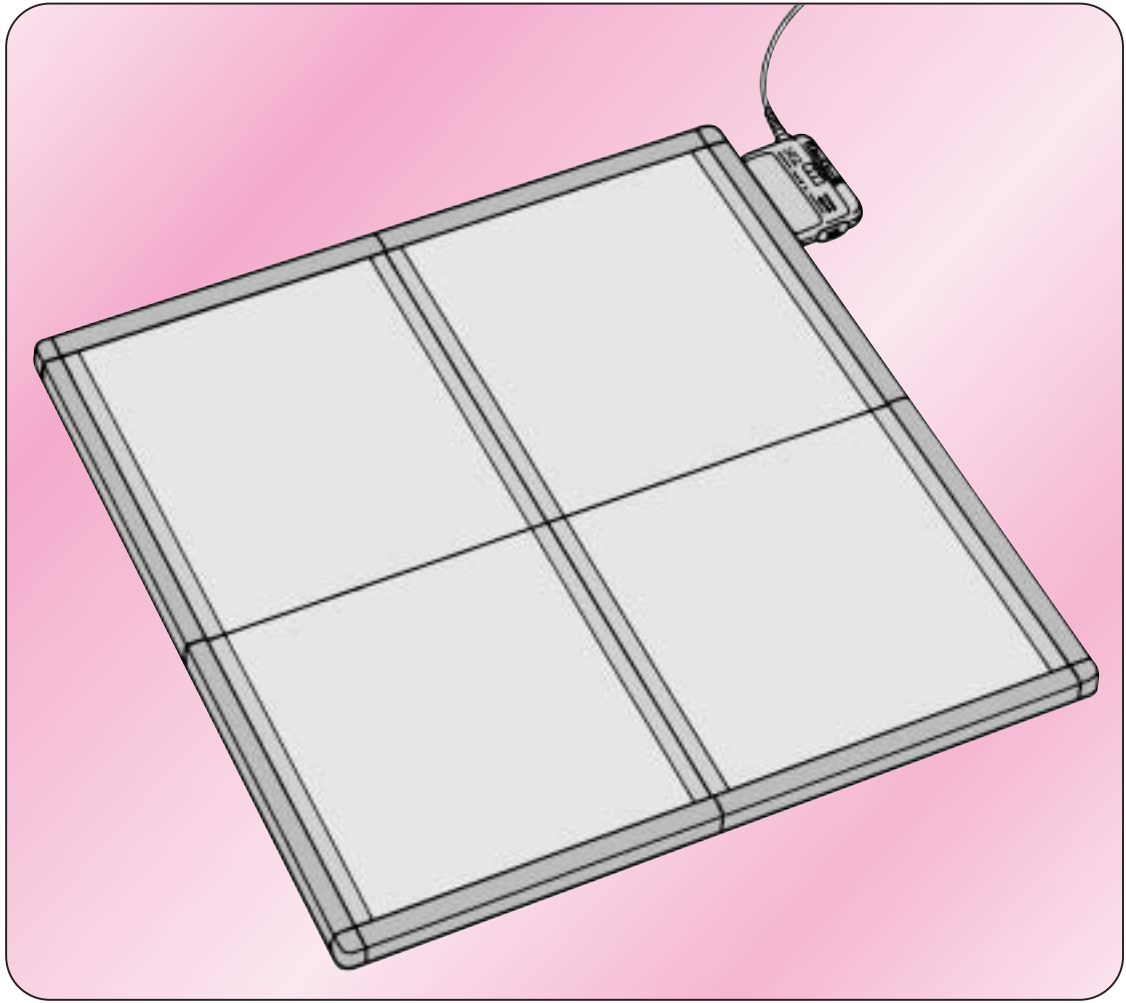
松下電工株式会社 リビング・ライフ事業部　〒522-8520　滋賀県彦根市岡町33番地

H-N0.2

National
松下電工

保証書別添
保　管　用

品番　DR6200,DR6300

取扱説明書

このたびは、ナショナルホッと畳をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、その後いつでもご覧になれる所に必ず保管してください。

もくじ

DRCT1D-520

◆ 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、**「危険」「警告」「注意」**に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容です。必ず守ってください。

⚠危険	人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
⚠注意	人が傷害を負う危険性及び物的損害の発生が想定される内容

●絵表示の例

分解禁止

⃠記号は、**禁止**の行為を示しています。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

電源プラグを抜く

❗記号は、行為を**強制**したり**指示**したりするものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合はコンセントから電源プラグを抜いてください）が描かれています。

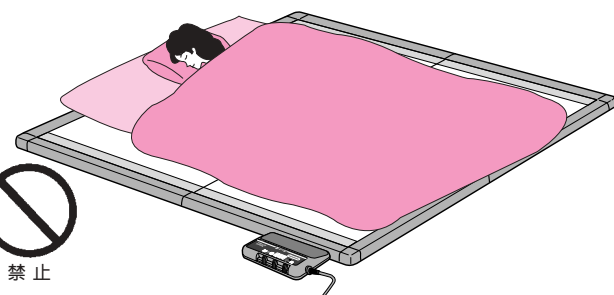
⚠危険

低温やけどや脱水症状をおこすおそれがあります。

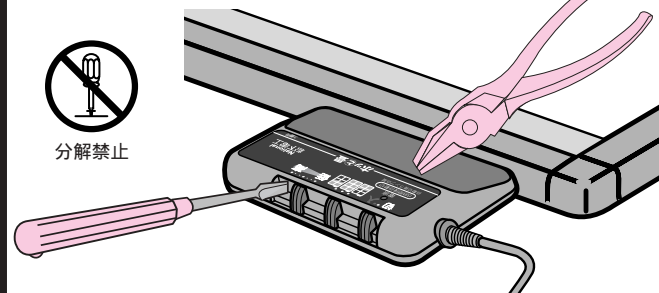
必ず守る

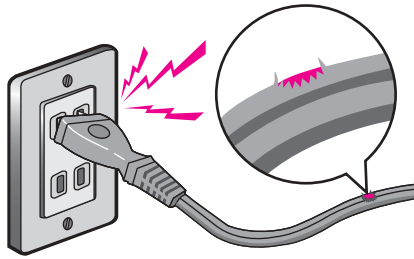
次のような方がお使いのときは、特に注意してください。

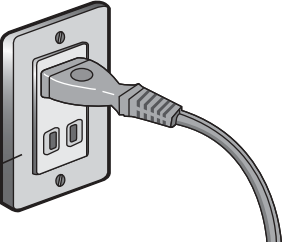
- 乳幼児・お子様・お年寄り
- 自分で温度調節のできない方
- 皮ふ感覚の弱い方・皮ふの弱い方
- 眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方
- 深酒された方
- 疲労の激しい方

畳を外してヒーターユニット単体で使用しない。就寝用暖房器具として使用しない。

低温やけどについて……一般にやけどといえば、火・熱湯・油などの高温のものが皮ふにふれておこるものですが、比較的低い温度（40～60℃）のものでも長時間皮ふの同じ箇所にふれていると（状態や個人差によっても異なりますが）低温やけどをおこす場合があります。一般のやけどは皮ふの表層のみですが、低温やけどは皮ふの深部におよび、赤い斑点や水ぶくれができるのが特徴です。

⚠警告

自分で分解、修理しない。

発火したり、異常動作して感電・けが、火災の原因となります。

電源コード、プラグがいたんだり、コンセントにプラグを差し込んだとき、ガタ・ユルミのあるときは使用しない。

感電・火災の原因となります。

必ず交流100Ｖで使用する。

100Ｖ以外で使用すると、感電・火災の原因となります。

電源コードを束ねて通電したり、加工したり無理な力を加えたりしない。

電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。

⚠注意

必ず守る

●電源プラグを抜く時は、電源コードを持たないで必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。
●電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。
上記2項を守らないと、感電・ショート・過熱・発火の原因となります。
●延長コードをご使用の場合はホッと畳の最大消費電力以上の容量を持つ延長コード（テーブルタップ）をご使用ください。
容量に余裕がないと、発熱・発火のおそれがあります。

注意する

●木枠で、つまずかないよう注意する。
つまずくとケガの原因になります。

電源プラグを抜く

●使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。
抜かないと、絶縁劣化による感電や火災の原因となります。

禁止

●高周波を利用した機器（超短波治療器・工業用ミシンなど）は、温度コントローラーの近くで使用しない。
故障の原因になります。

●温度コントローラー部に水やお茶などをこぼしたり、強い衝撃をあたえない。
（万一こぼしたり、衝撃をあたえた時は直ちに使用を中止し、販売店の点検を受けてください。）
感電・火災や故障の原因となります。

●凹凸・段差のある場所で使用しない。
ヒーターユニットが破損し、感電・火災の原因となります。

●スプレー缶、ライター等を近くに置かない。
加熱して爆発や火災の原因となります。

●犬や猫などペットの暖房には使用しない。
ペットがヒーターユニットやコードを傷め、火災の原因となります。

●アイロン台として使用したり、加熱物を置かない。
熱でヒーターユニットを傷め発火の原因となります。

●針やピンなどでさしたり、刃物で傷つけない。
ショートして感電や故障の原因となります。

●座布団など保温性のよいものを長時間同じ場所にのせない。
のせたものや畳表（い草）が熱で変色することがあります。

◆ 組立のしかた

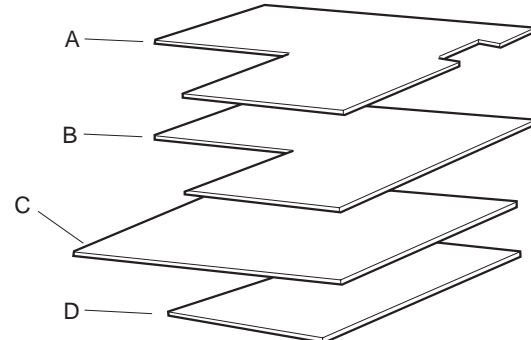
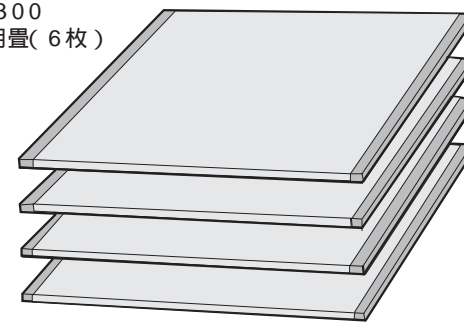
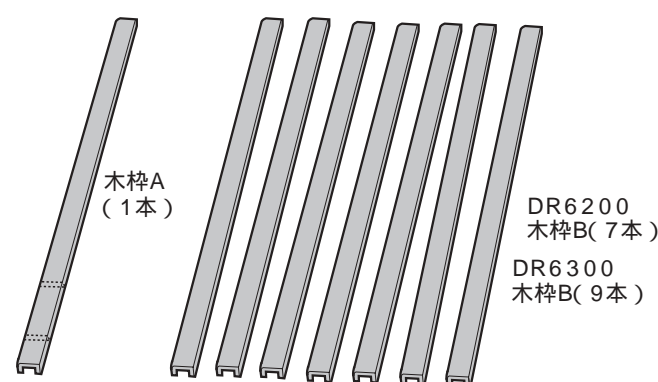
組立前のご注意

■ **ホッと畳を敷くときは………**

- 乾燥している床に敷いてご使用ください。
  （床面をワックスがけ・ふき掃除をした時は、床面をよく乾燥させてからお使いください。）
- 平らな床に敷いてご使用ください。
- ジュータン上でご使用になると、木枠の接合部が傷む原因になるのでご注意ください。

■ **収納時に使いますので、箱は捨てないでください。**

同梱部品のご確認

● 梱包は2箱になっています。

※組立前に必ず部品をご確認ください。万が一不足している部品がある場合は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

各部のなまえ

暖房用畳（×4枚）

木枠
Aタイプ×1本
Bタイプ×7本

木枠Aタイプ（1本）

連結金具（×4個）

木枠Bタイプ（7本）

木枠コーナー継ぎ手
（×4個）

ヒーターユニット（×1枚）

端子ケース

温度コントローラー
（×1台）

断熱パネル
Aタイプ×1枚
Bタイプ×3枚
Cタイプ×1枚

Bタイプ
Cタイプ
Aタイプ
Bタイプ
Bタイプ

組立手順

1 木枠を継ぎます。（その1）
※組立には、ご家庭にあるドライバーをご使用ください。

ご注意 木枠および床面などのキズ付き防止のため、床面のほこりや異物を取り除いてから、新聞紙などをひろげた上で連結作業をしてください。

木枠Aと木枠Bを裏返して、連結金具とネジA4本とネジB2本を使って固定します。
連結金具の穴付き面と木枠のネジ穴面を合わせるようにセットしてください。

木枠Bを2本裏返して、連結金具とネジA4本とネジB2本を使って固定します。
連結金具の穴付き面と木枠のネジ穴面を合わせるようにセットしてください。

ご注意 連結金具にはネジB取付けの方向性があります。

ご注意 スプリングワッシャーは確実に締め付けてください。

ポイント この部分にすき間があかないように組立てるのがポイントです。

ネジA4本を金具に差し込んだ状態でネジB2本を先に締めつけてください。

ポイント この状態になるまで締めつけてください。

木枠を継ぎます。（その2）

木枠Bを2本裏返して、連結金具とネジA4本とネジB2本を使って固定します。さらに両端に木枠コーナー継ぎ手をネジA1本とネジB1本を使ってそれぞれ固定します。
これを2セット作ります。
木枠コーナー継ぎ手は、木枠Bタイプと形状が合うようにセットしてください。

ポイント ネジA→ネジBの順に締めつけてください。

ご注意 スプリングワッシャーは確実に締めつけてください。

ご注意 木枠コーナー継ぎ手の取り付け方向に間違いのないよう、ご確認ください。

ポイント この状態になるまで締めつけてください。

7

組立のしかた

2 木枠をコの字に組立てます。

木枠コーナー継ぎ手

コンセントの位置を確認して
木枠を設置してください。
（組立完成後は移動が困難です）

側面よりネジBで固定します。
（2箇所）

端子ケースを固定した後に、この部分の木枠を連結しますので、まだ連結しないでください。ここに温度コントローラーが取付きます。

木枠を持ち上げると、ネジが締めやすくなります。

3 断熱パネルを敷き込みます。

ご注意 **凹凸面が上になるように敷き込んでください。**

断熱パネルを踏むとへこむことがありますが、
支障はありません。

Cタイプ

Aタイプ

Bタイプ

この部分の木枠は
まだ連結しません。

木枠Aタイプ

木枠Bタイプ

※断熱パネルは、木枠内に入っていれば木枠とのスキ間が均等でなくても問題ありません。

4 ヒーターユニットを敷き込みます。

ヒーターユニット

端子ケース

木枠Aタイプ

木枠Bタイプ

5 木枠Aの切り欠き部に端子ケースを固定します。

木枠Aタイプの切り欠き部

ヒーターユニット

ヒーターユニットの
端子ケースを折り返します。

木枠Bタイプ

ネジC

ワッシャー

ヒーターユニットを折り返して
端子ケースを木枠の切り欠き部に
はめ込んでネジC2本とワッシャー
2枚を使って固定します。

断熱パネルAタイプ

木枠Aタイプ

8

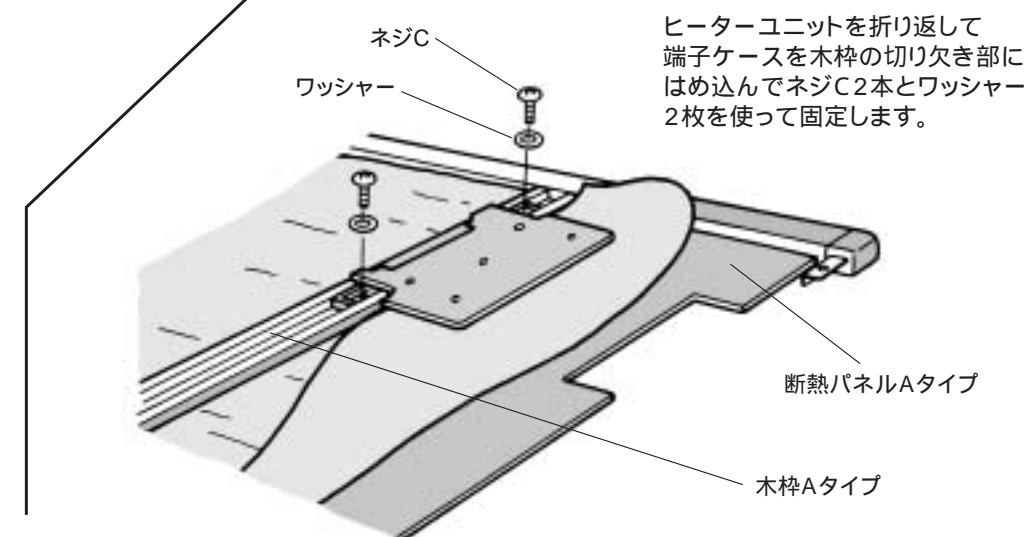
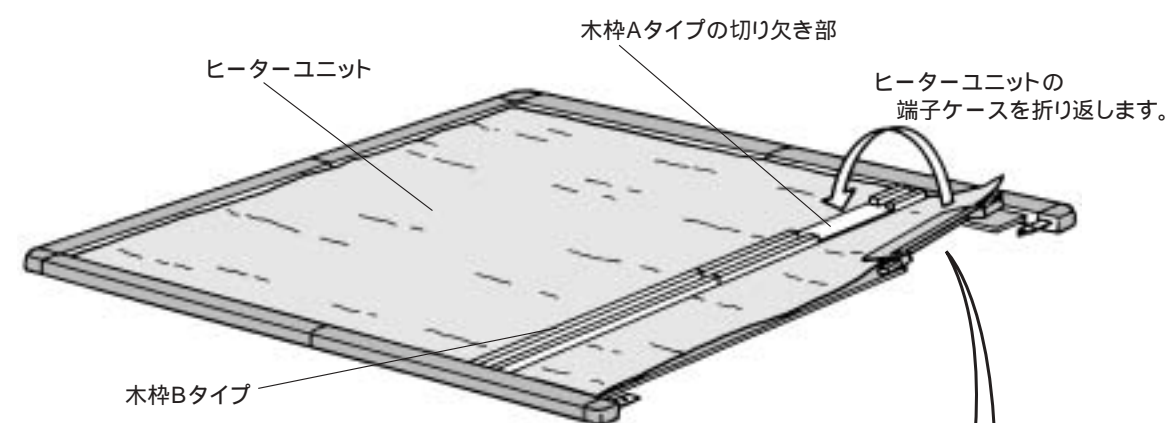
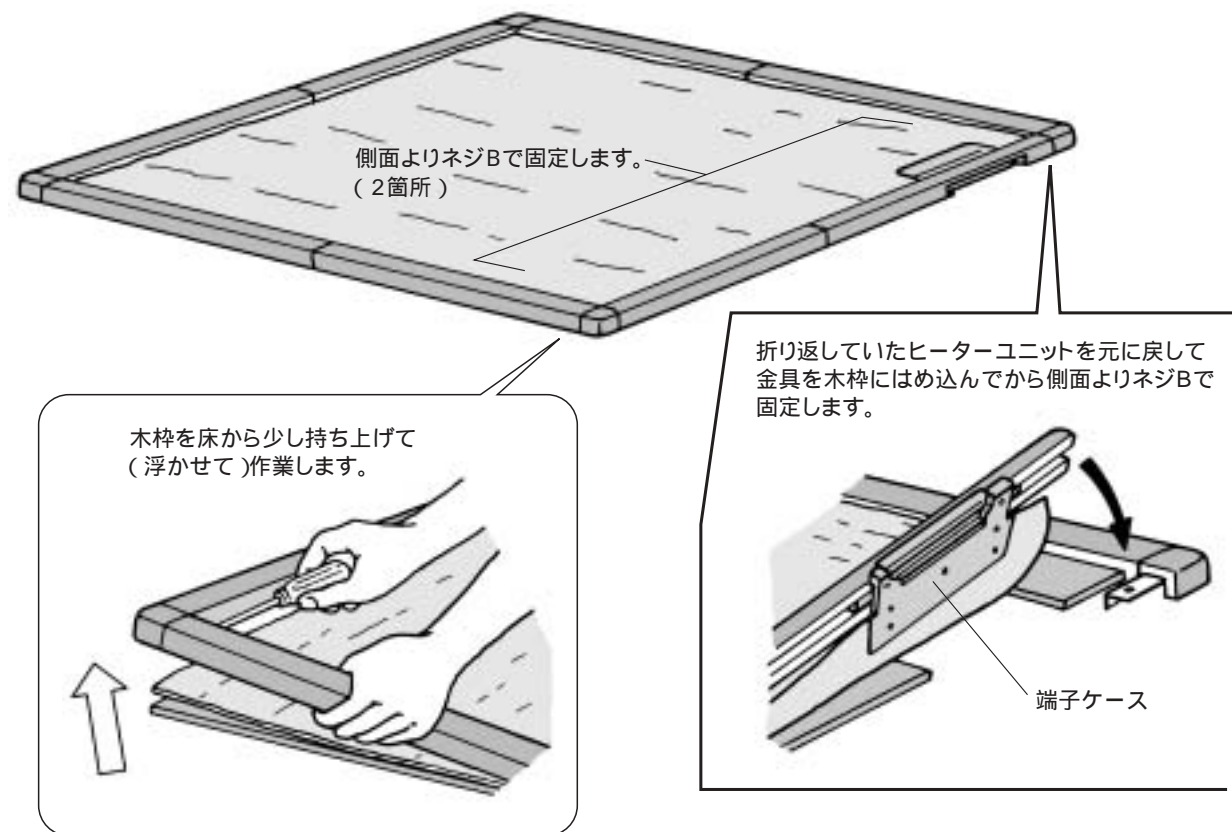
組立のしかた

6 木枠全体を固定します。

側面よりネジBで固定します。（2箇所）

木枠を床から少し持ち上げて（浮かせて）作業します。

折り返していたヒーターユニットを元に戻して金具を木枠にはめ込んでから側面よりネジBで固定します。

端子ケース

8 暖房用畳を敷き込みます。

畳を4枚木枠の内側に並べてください。

木枠Aタイプ

ストッパーレバーを矢印の解除の方向にスライドさせてから保護キャップの2箇所あるツメを上から押さえながら引っぱって保護キャップを取外してください。その後、温度コントローラーを差し込んで、ストッパーレバーを固定方向にスライドさせて温度コントローラーを固定してください。

ストッパーレバー

解除

固定

保護キャップ

ツメ

※取りはずした保護キャップは大切に保管してください。

完　　成

暖房をしない時（保護キャップ挿入）

暖房をしない時に温度コントローラーを取外した場合、温度コントローラーの代わりに保護キャップを端子ケース部分に必ず差し込んでください。保護キャップを使用しないと木枠が割れるおそれがあります。

※完成後は、木枠を手で引っ張るなど無理な力を加えないでください。
連結部の破損の原因になります。

上手な畳のはずし方

※木枠を少し持ち上げて、断熱パネルごと下から押し上げるようにしてはずします。

※暖房用畳をめくる時は、千枚通し等の鋭利なものは使用しないでください。
ヒーターユニットを傷める原因になります。

組立のしかた〈3畳用〉

各部のなまえ

暖房用畳（×6枚）

木枠
Aタイプ×1本
Bタイプ×9本

木枠Aタイプ（1本）
木枠Bタイプ（9本）
連結金具（×6個）
木枠コーナー継ぎ手
（×4個）

ヒーターユニット
（×1枚）

端子ケース
温度コントローラー
（×1台）

断熱パネル
Aタイプ×1枚
Bタイプ×3枚
Cタイプ×2枚
Dタイプ×2枚

Bタイプ
Cタイプ
Dタイプ
Cタイプ
Bタイプ
Dタイプ
Bタイプ
Aタイプ

組立手順

1 木枠を継ぎます。（その1）
※組立には、ご家庭にあるドライバーをご使用ください。

ご注意 **木枠および床面などのキズ付き防止のため、床面のほこりや異物を取り除いてから、新聞紙などをひろげた上で連結作業をしてください。**

木枠Bタイプ
ネジA
連結金具
木枠Aタイプ
ネジB
×1セット

木枠Aと木枠Bを裏返して、連結金具とネジA4本とネジB2本を使って固定します。
連結金具の穴付き面と木枠のネジ穴面を合わせるようにセットしてください。

木枠Bタイプ
ネジA
木枠Bタイプ
ネジB
×1セット

木枠Bを2本裏返して、連結金具とネジA4本とネジB2本を使って固定します。
連結金具の穴付き面と木枠のネジ穴面を合わせるようにセットしてください。

ご注意 **連結金具にはネジB取付けの方向性があります。**

ネジA
スプリングワッシャー
平座金
ご注意 **スプリングワッシャーは確実に締め付けてください。**
連結金具
ポイント **この部分にすき間があかないように組立てるのがポイントです。**
ポイント
ネジB
ネジA4本を金具に差し込んだ状態でネジB2本を先に締めつけてください。

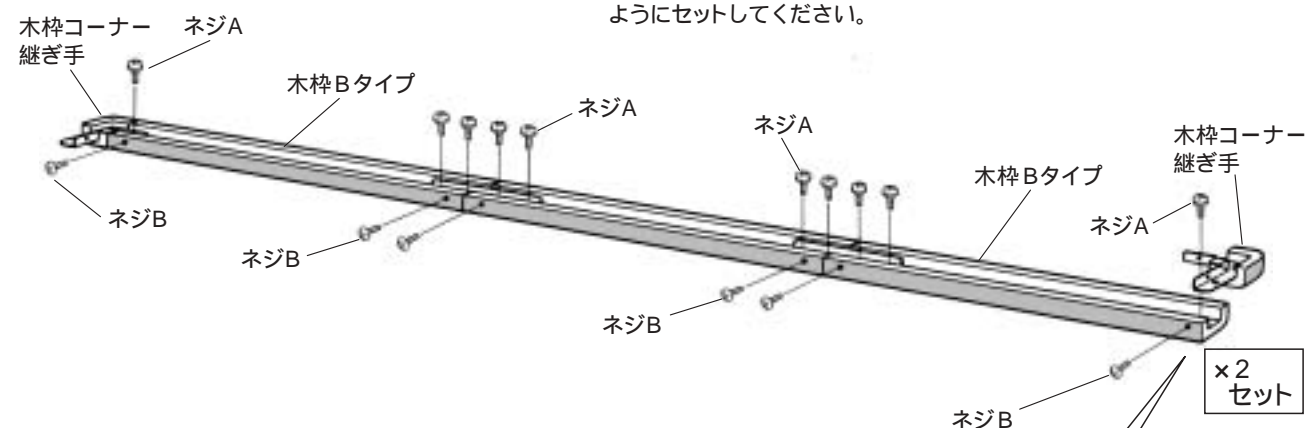
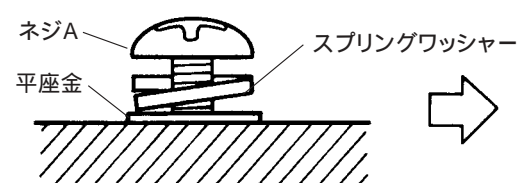
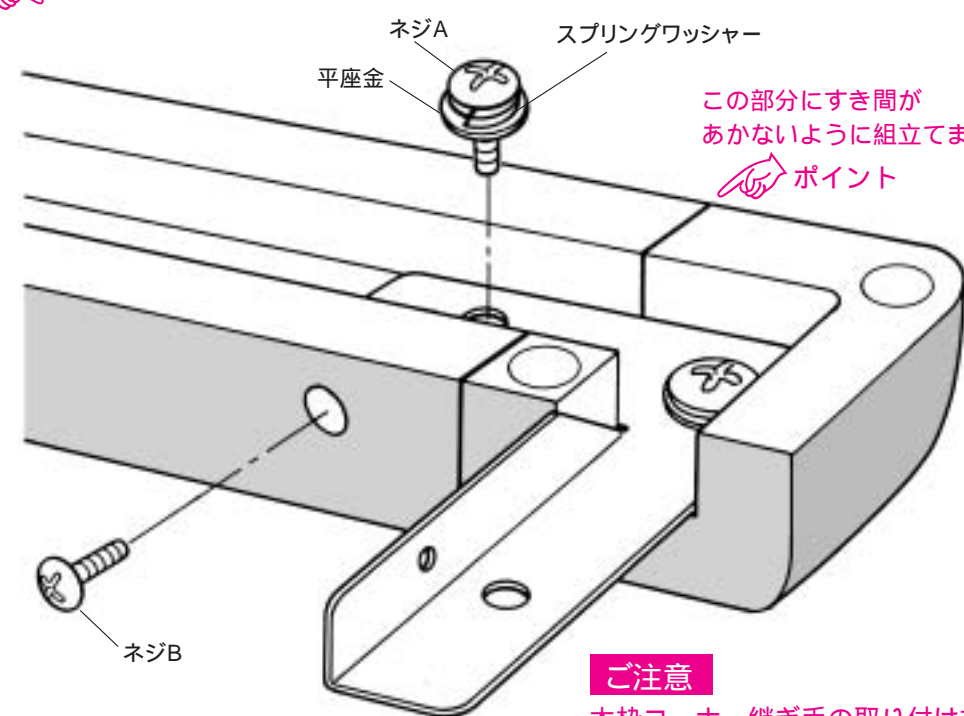
ネジA
平座金
スプリングワッシャー
ポイント **この状態になるまで締めつけてください。**

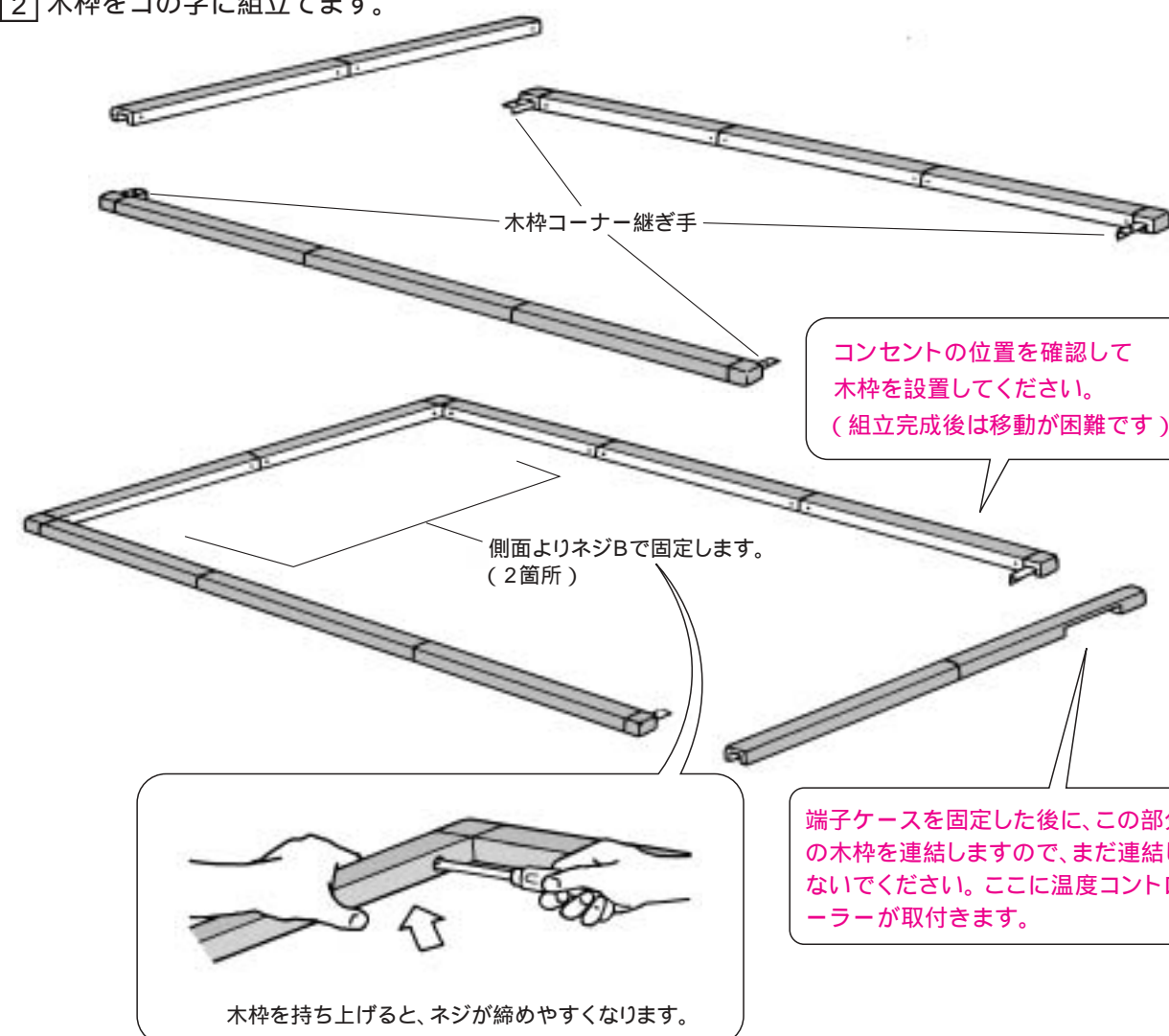
木枠を継ぎます。（その2）

木枠Bを3本裏返して、連結金具2本とネジA8本とネジB4本を使って固定します。さらに両端に木枠コーナー継ぎ手をネジA1本とネジB1本を使ってそれぞれ固定します。これを2セット作ります。木枠コーナー継ぎ手は、木枠Bタイプと形状が合うようにセットしてください。

ポイント **ネジA→ネジBの順に締めつけてください。**

ご注意 **スプリングワッシャーは確実に締めつけてください。**

ご注意
木枠コーナー継ぎ手の取り付け方向に間違いのないよう、ご確認ください。

ポイント **この状態になるまで締めつけてください。**

2 木枠をコの字に組立てます。

コンセントの位置を確認して木枠を設置してください。（組立完成後は移動が困難です）

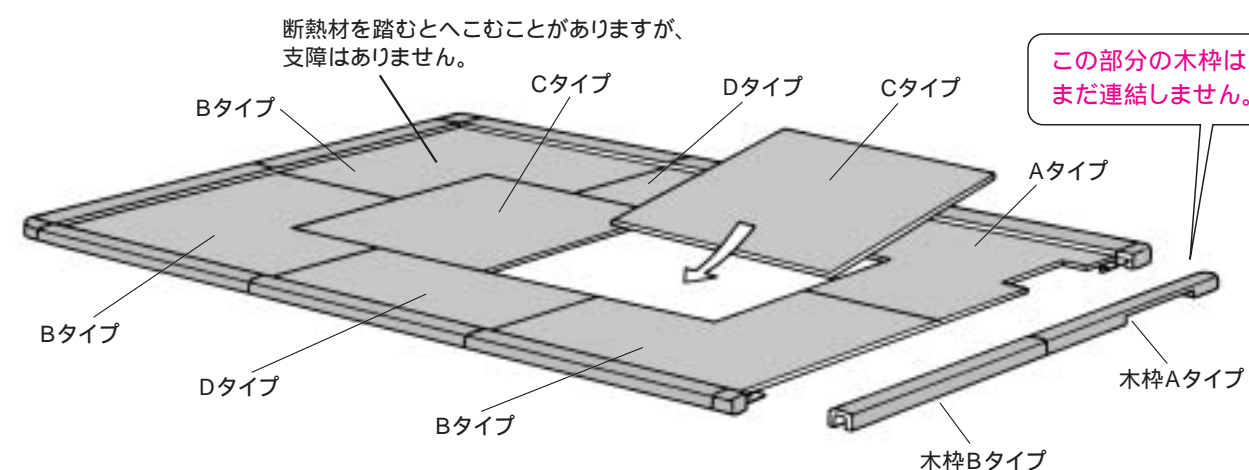
木枠を持ち上げると、ネジが締めやすくなります。

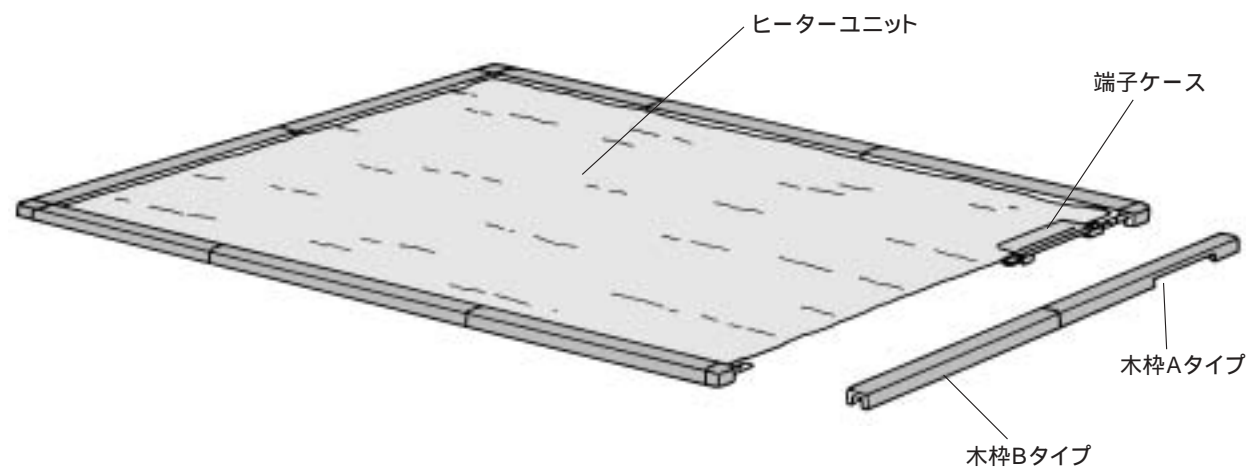
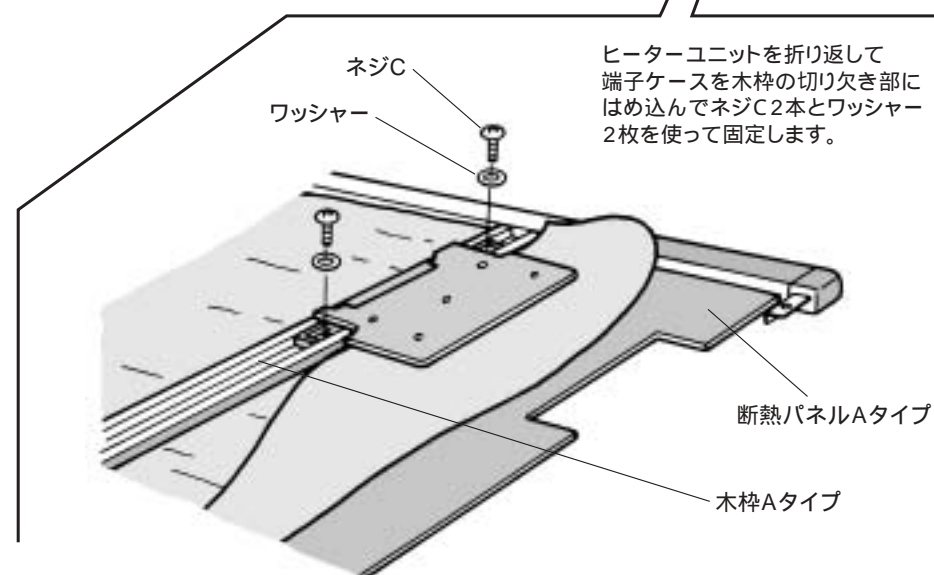
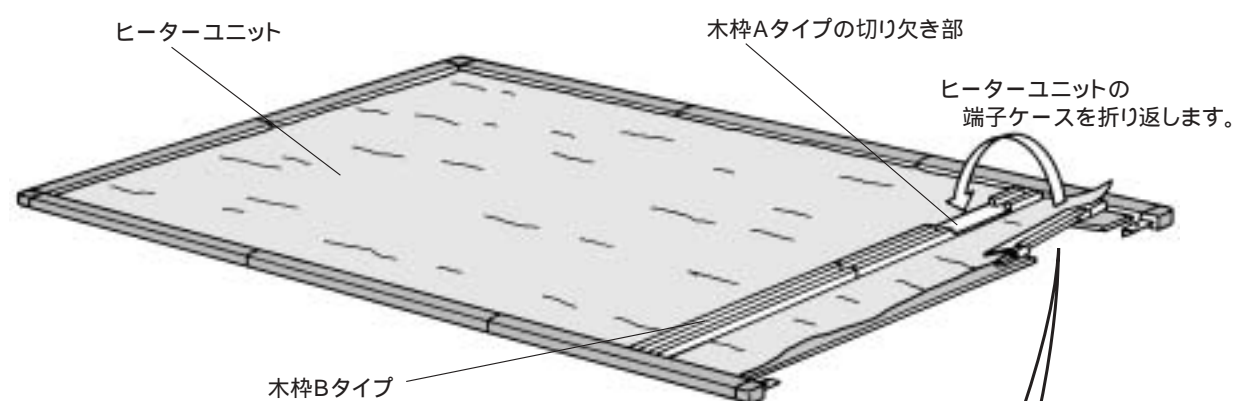
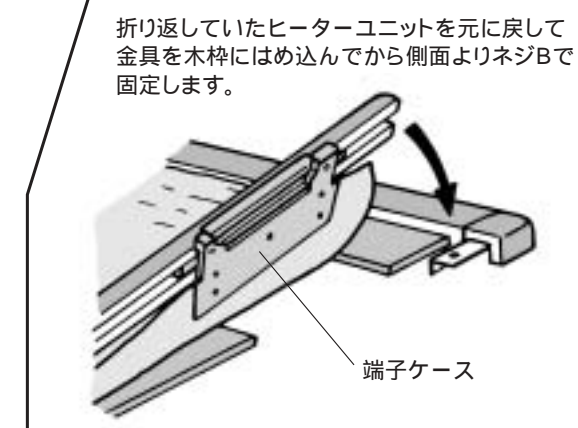
端子ケースを固定した後に、この部分の木枠を連結しますので、まだ連結しないでください。ここに温度コントローラーが取付きます。

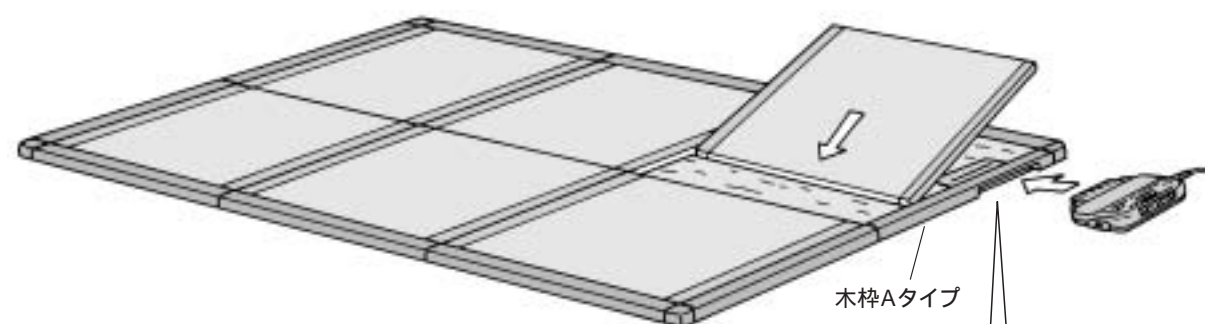
3 断熱パネルを敷き込みます。

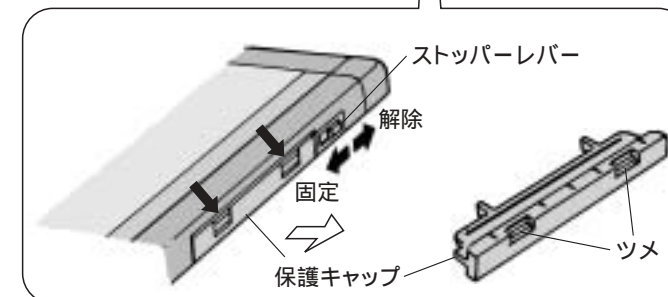
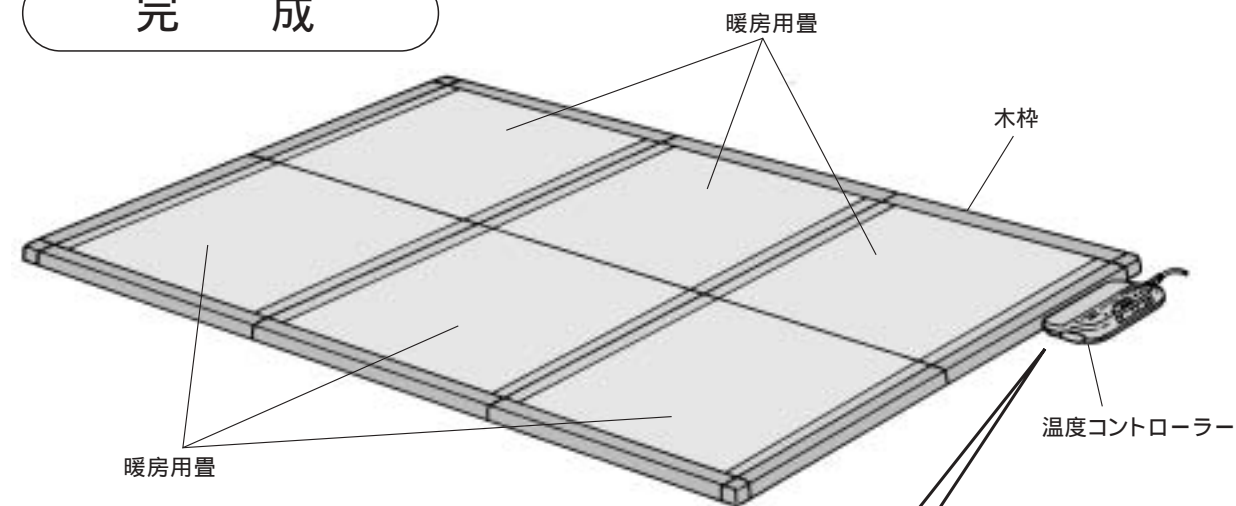
ご注意 **凹凸面が上になるように敷き込んでください。**

断熱材を踏むとへこむことがありますが、支障はありません。

この部分の木枠はまだ連結しません。

※断熱パネルは、木枠内に入っていれば木枠とのスキ間が均等でなくても問題ありません。

4 ヒーターユニットを敷き込みます。

5 木枠Aの切り欠き部に端子ケースを固定します。

6 木枠全体を固定します。

8 暖房用を敷き込みます。

畳を 6 枚木枠の内側に並べてください。

ストッパーレバーを矢印の解除の方向にスライドさせてから保護キャップの2箇所あるツメを上から押さえながら引っぱって保護キャップを取外してください。その後、温度コントローラーを差し込んで、ストッパーレバーを固定方向にスライドさせて温度コントローラーを固定してください。

※取りはずした保護キャップは
大切に保管してください。

完　成

暖房をしない時（保護キャップ挿入）

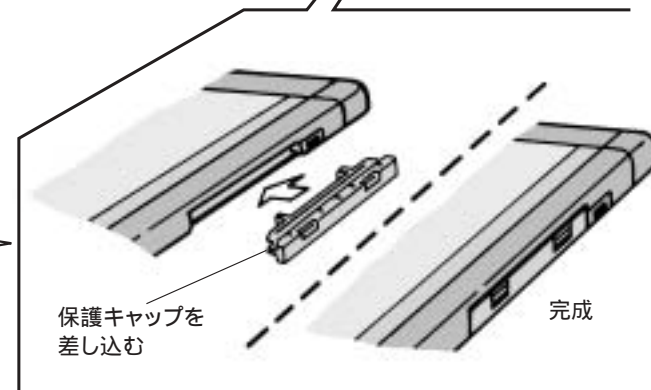
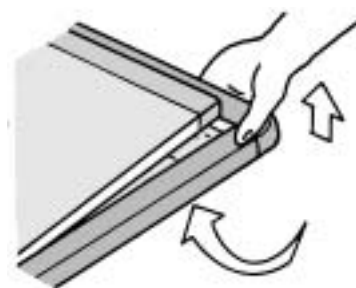
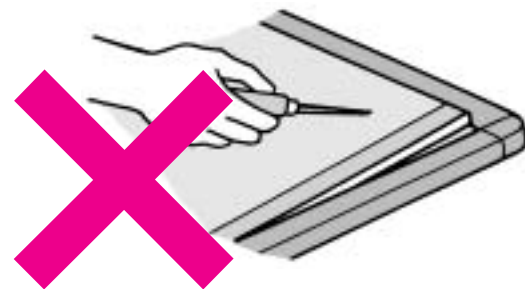
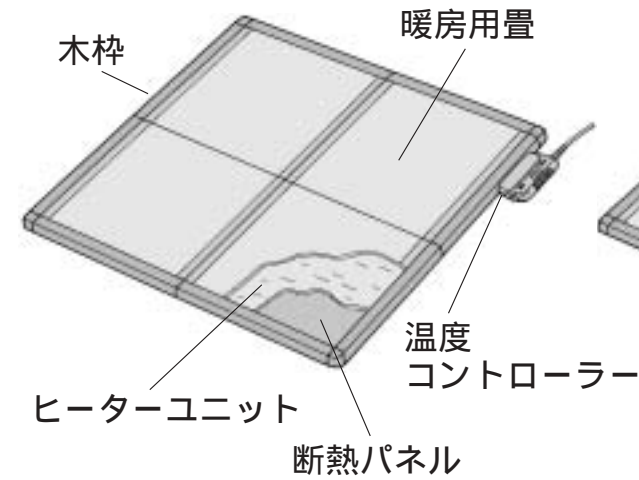
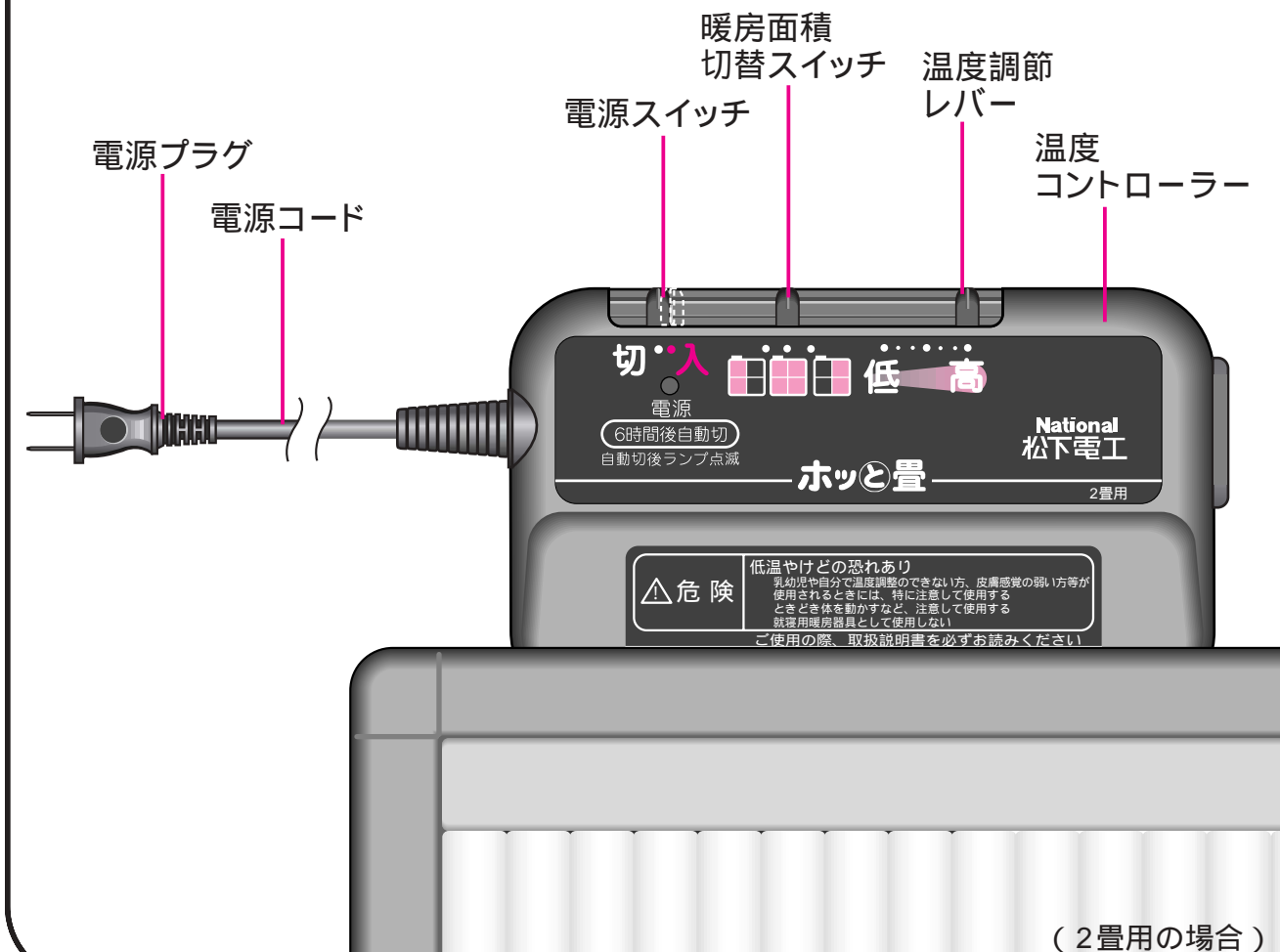
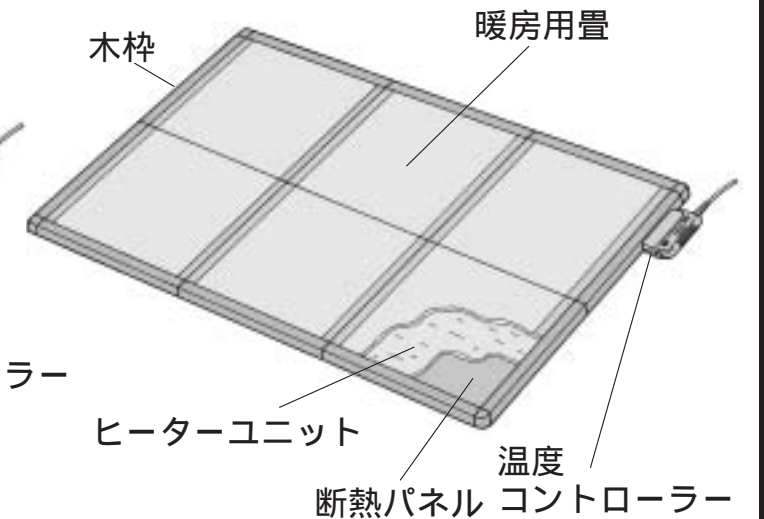
暖房をしない時に温度コントローラーを取外した場合、温度コントローラーの代わりに保護キャップを端子ケース部分に必ず差し込んでください。保護キャップを使用しないと木枠が割れるおそれがあります。

※完成後は、木枠を手で引っ張るなど無理な力を加えないでください。
連結部の破損の原因になります。

上手な畳のはずし方

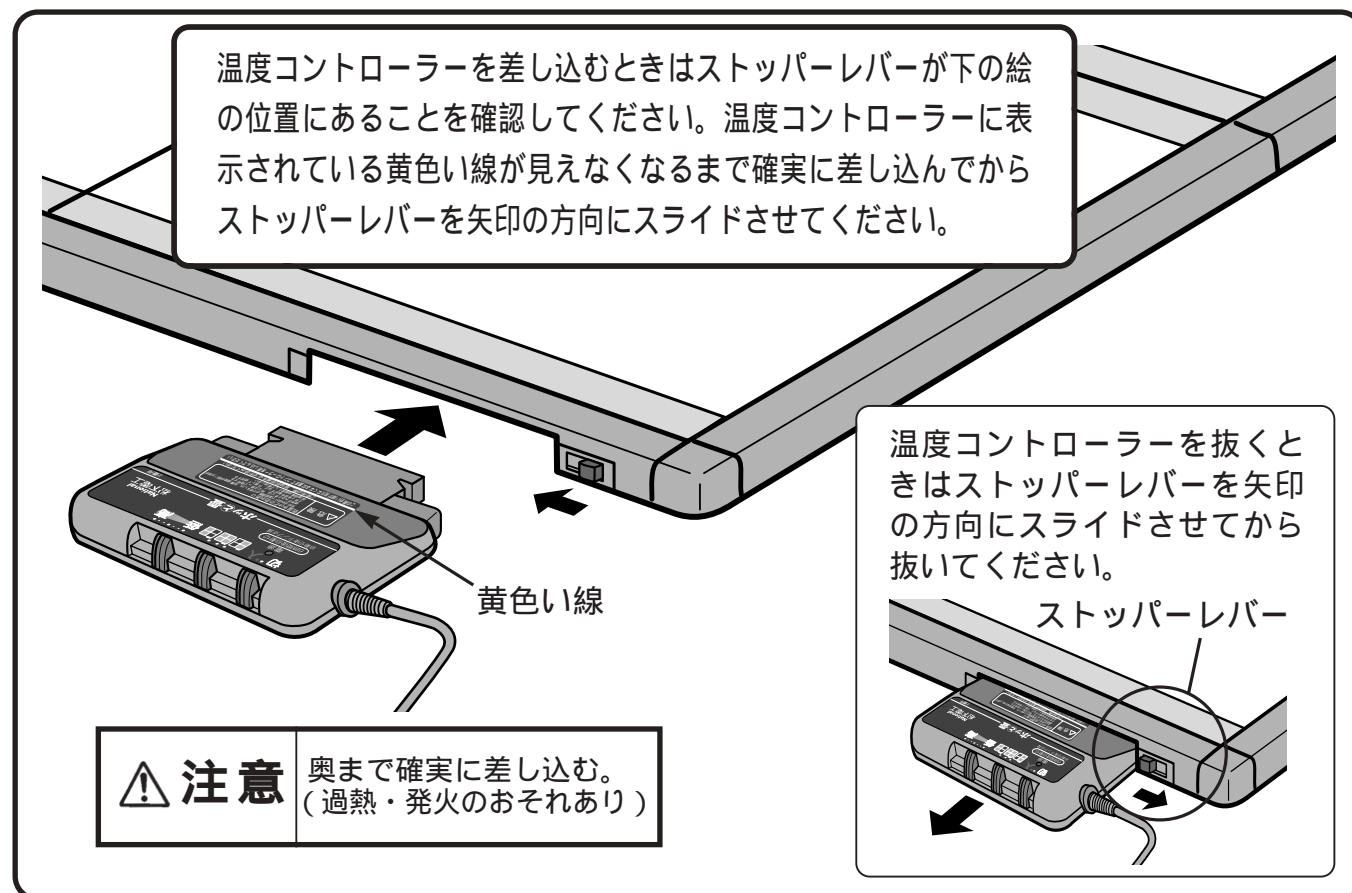
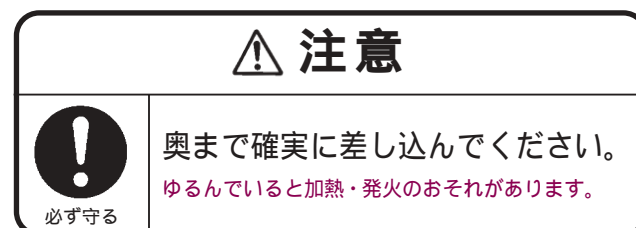
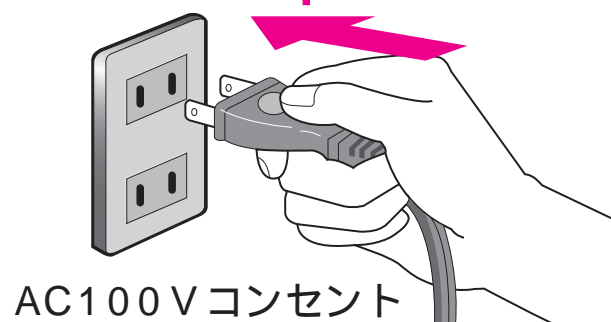
※木枠を少し持ち上げて、断熱パネルごと
下から押し上げるようにしてはずします。

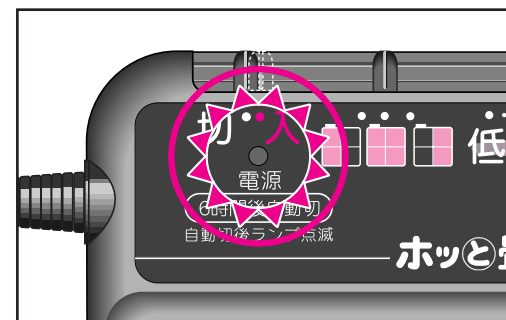
※暖房用畳をめくる時は、千枚通し等の鋭利なものは
使用しないでください。
ヒーターユニットを傷める原因になります。

◆ 各部のなまえ

DR6200（2畳用）

DR6300（3畳用）

（2畳用の場合）

◆ 温度コントローラーの操作のしかたと機能

■暖房を入れるには……

1 温度コントローラーを、木枠にとりつけた端子ケースに差し込む

2 電源プラグをしっかりと差し込む

■自動切タイマー

電源スイッチを入れると、自動的に「切タイマー機能」がはたらき、約6時間後に電源が切れます。
（電源ランプが点滅に変わります）
電源スイッチを一度「切」にしてから再度「入」にすれば、もとどおり通電します。

3 電源スイッチを「入」にする

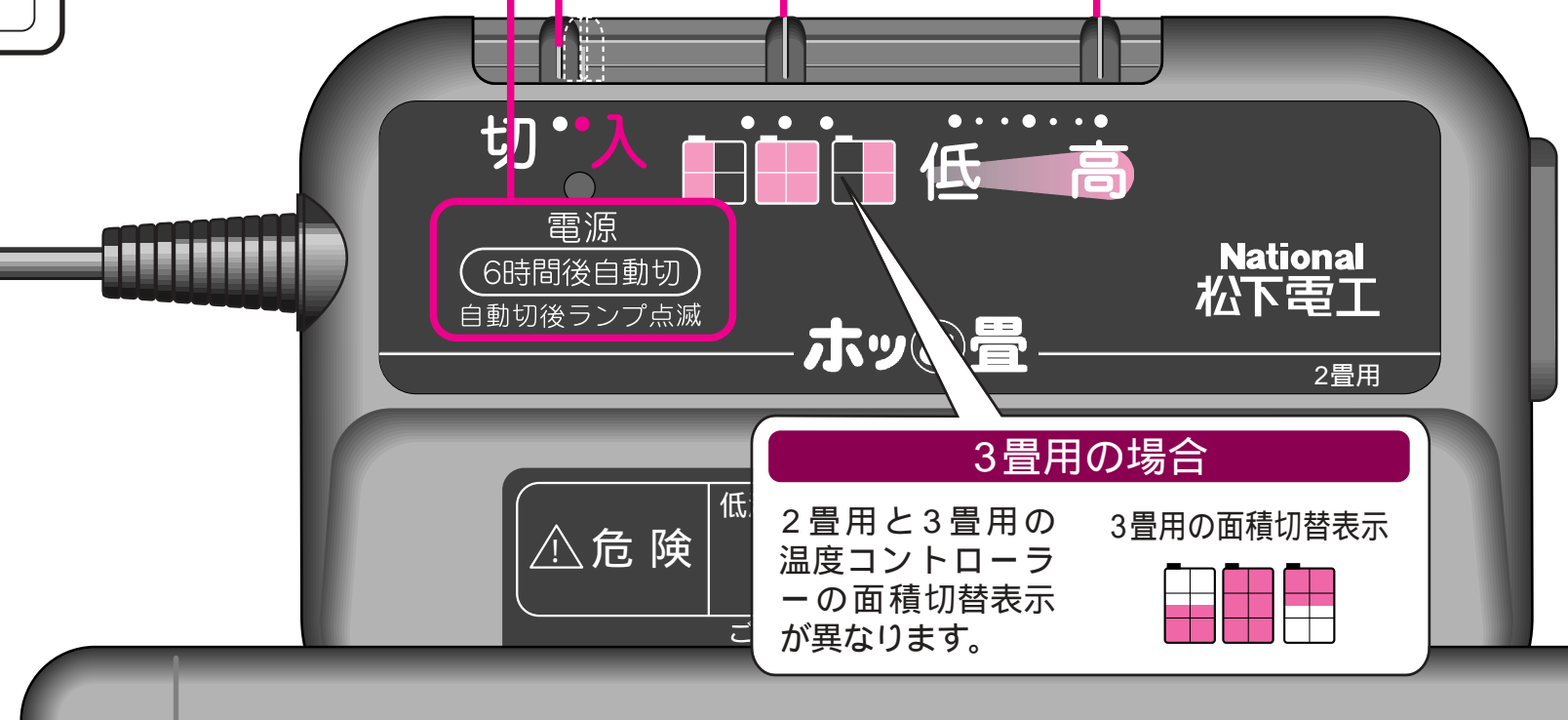
4 暖房面を選ぶ

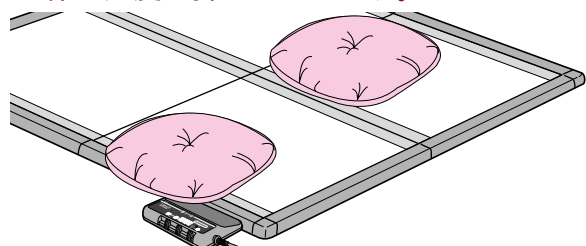
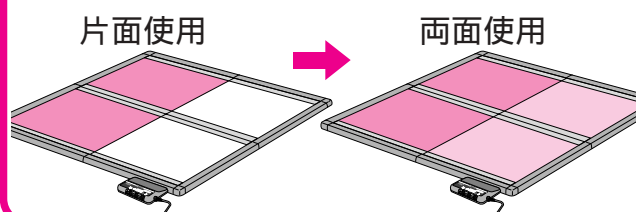
※図は2畳用の温度コントローラー部で説明しています。

5 好みの温度に合わせる

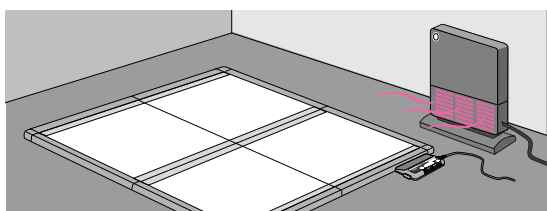
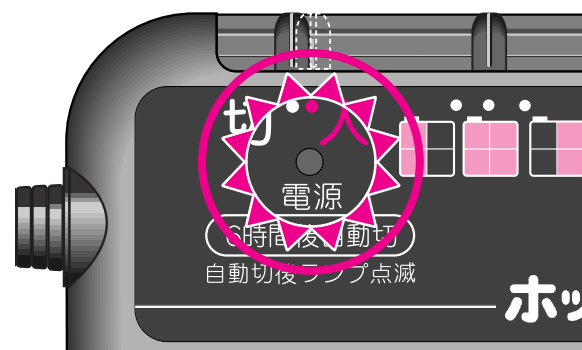
3畳用の場合

2畳用と3畳用の温度コントローラーの面積切替表示が異なります。

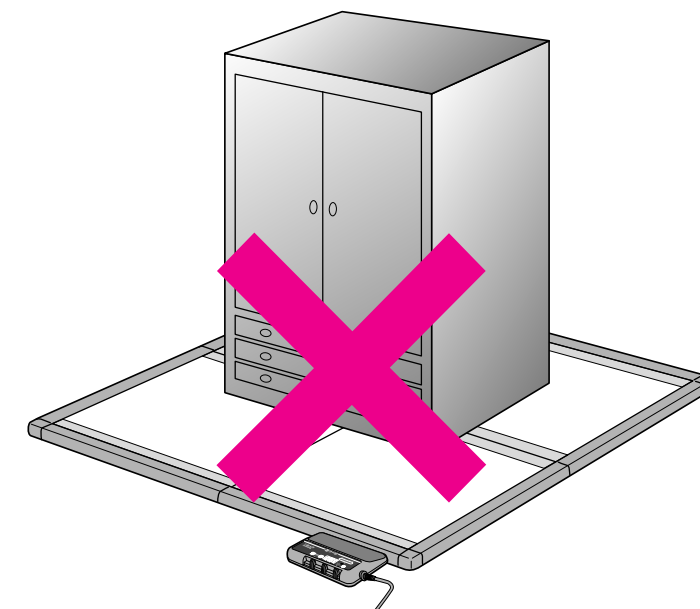
〈3畳用の面積切替表示〉

◆ 知っておいていただきたいこと

●ホッと畳や温度コントローラー部の上に座布団などを置くと温度が上がりにくくなります。
座布団を置いてある場所の温度が他の場所より上がるため、温度コントローラー内の保護機能が働いてホッと畳表面全体の温度を抑えるためです。

●片面で使用していた後、両面に切り替えたとき、使用していなかった面は温度が上がりにくくなります。
はじめに使用していた片面の温度を保つように温度コントローラーが通常よりも電力セーブして動作するため、使用していなかった面の表面全体の温度が上がるのに通常より時間がかかるためです。

●エアコン、ファンヒーターなどの他の暖房器具の温風が直接ホッと畳に当たる場合、ホッと畳の表面の温度が上がりにくくなります。
他の暖房器具の温風がホッと畳に当たる場所の温度を他の場所より上げるため、保護機能が働いてホッと畳表面温度を自動的に下げるためです。

●ホッと畳は電源スイッチを入れてから約6時間で自動的に電源が切れるように設定されています。
（電源が切れると電源スイッチが点滅します）

電源スイッチを一度「切」に戻してから再度「入」にすれば、もとどおり通電します。

●コンクリート床等の熱が下に逃げやすい床では、ぬるく感じます。

●家具など重いものをのせると、畳やヒーターユニットが傷みますのでのせないでください。

●畳の表面に粉がついている場合がありますが、これは製造段階でい草を保護するために使われているものです。ご使用前に、水でぬらしたタオルをかたく絞り、数回拭いてください。

●畳の表面は天然のい草を使用していますので、畳ごとに若干色あいが異なります。

●畳の表面は天然のい草を使用していますので、お使いいただくうちに、徐々に変色します。特に直射日光にあたると、早く変色しますのでご注意ください。

●木枠は天然木材を使用していますので、木枠ごとに木目や色あいが若干異なります。

●木枠に物を落とすと、へこむことがありますのでご注意ください。

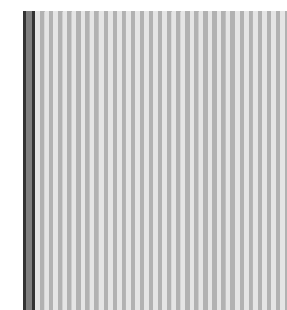
下記の様な床でご使用の場合は、ときどきホッと畳をめくって床をチェックしてください。

●熱に弱い床や敷物、クッションフロアの上で長時間使用しますと床にひびが入ったり、傷んで変色する場合があります。

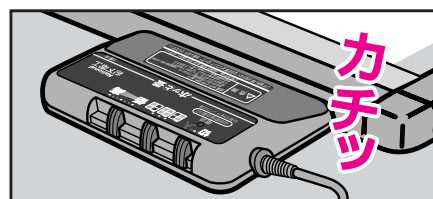
●新しい畳の上でご使用になると、ホッと畳の下の畳が変色する場合があります。

●ヒーターユニットは通気性がありませんので、長時間ご使用の場合はカビの発生などにご注意ください。特に湿気を多く含む床（コンクリートの上に直貼りした木床等）の上でのご使用はご注意ください。

別売交換用畳　半畳サイズ（1枚）
DR60001

●82×82cm
※2畳ユニットの交換なら4枚、
　3畳ユニットの交換なら6枚必要です。

◆ 故障かなと思ったときに

このようなとき	チェックしてください	直しかた
暖かくならない	電源ランプが点滅していませんか。	**自動切タイマーが動作しています。電源スイッチを一度「切」にし再度「入」にしてください。（P21参照）**
	電気こたつの温度調節を「強」にして併用していませんか。	**電気こたつの温度調節を「中」～「弱」にしてください。**
	温度コントローラー部に座布団等がのっていませんか。	**温度コントローラー部の座布団等を取り除いてください。（P21参照）**
ときどき暖かくならない	温度コントローラー部にファンヒーターの温風が当たっていませんか。	**ファンヒーターの風が温度コントローラーに当たらないようにファンヒーターを移動してください。（P21参照）**
	座布団や掛け毛布など、保温性のよいものをホッと畳の上にのせていませんか。	**座布団など保温性のよいものをホッと畳の上から取り除いてください。（P21参照）**
温度が高い	温度調節レバーが「高」の目盛りになっていませんか。	**温度調節レバーをお好みの位置に調節してください。**

ご注意
- ●ご使用中に、温度コントローラー部から「カチッ」という音がしますが、これは温度調節機構の音で故障ではありません。
- ●温度コントローラー部が少し熱くなりますが、異常ではありません。

■お買い上げの販売店にご相談を

通電中に異常な音やニオイがするとき

操作部に水などをこぼしたとき

電源プラグが異常に熱くなるとき

◆ お手入れのしかた

■日常のお手入れ

⚠ 警告

お手入れの前には必ず電源プラグを抜いてください。
抜かないと感電の原因になります。

※シンナー、スプレー、ベンジン、石油などの有機溶剤は使わないでください。

畳

●ほこりなどは、畳の目にそって掃除機をかけて吸い取ってください。
●表面のうす汚れは、乾いたタオルなどで畳の目にそって拭いてください。
とれにくい汚れは、水に浸してかたく絞ったタオルなどで拭いてください。

木枠・温度コントローラー

●乾いたタオルなどで抜きとって下さい。とれにくい汚れは、水またはうすめた台所用洗剤に浸して、かたく絞ったタオルなどで拭いてください。

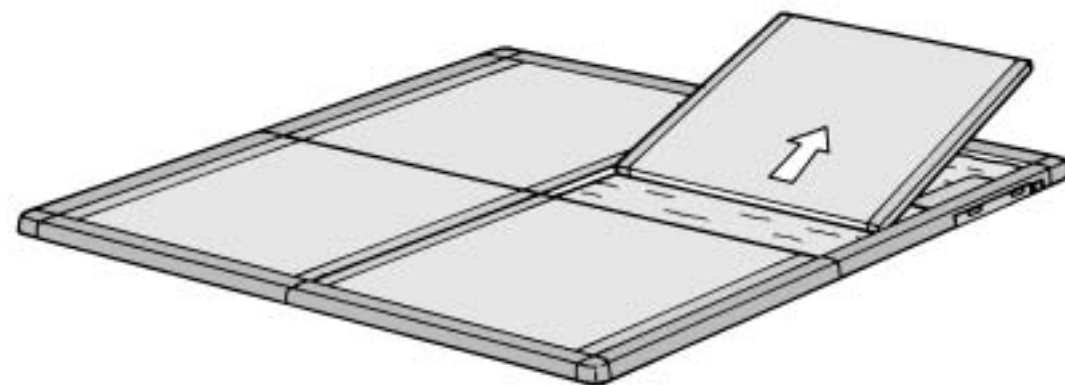
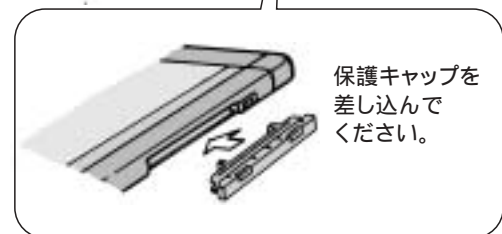
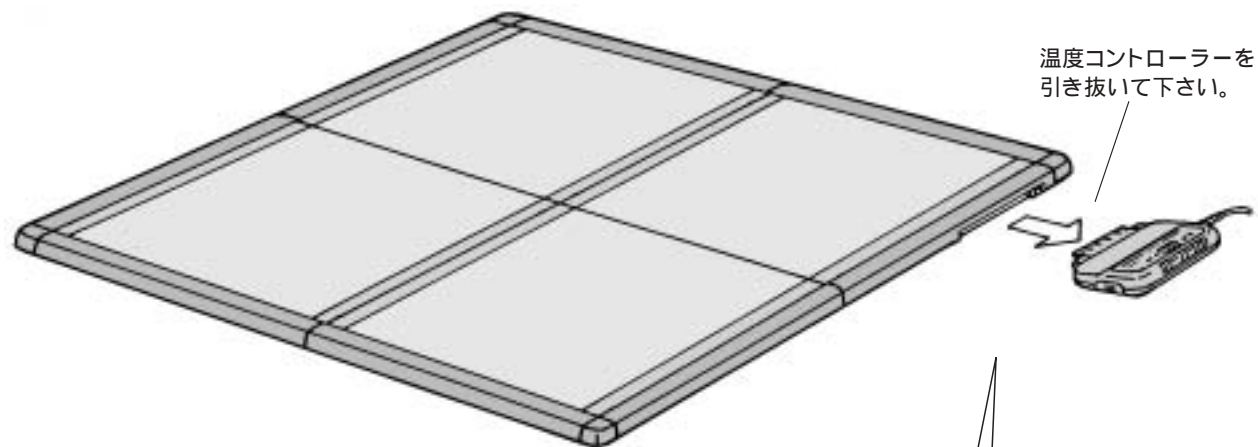
■何かをこぼした時

●ティッシュペーパーか乾いたタオルなどで、できるだけ早く拭きとってください。
●こぼしたものが畳の下まで入った場合は、畳をはずして、拭き取り、畳とヒーターユニットを乾燥させてください。
干す場合は、陰干ししてください。
●ヒーターユニットはクリーニングや水洗いできません。

◆ 収納のしかた　〈2畳用〉

①「日常のお手入れ」の要領でお手入れしてください。(P24参照)

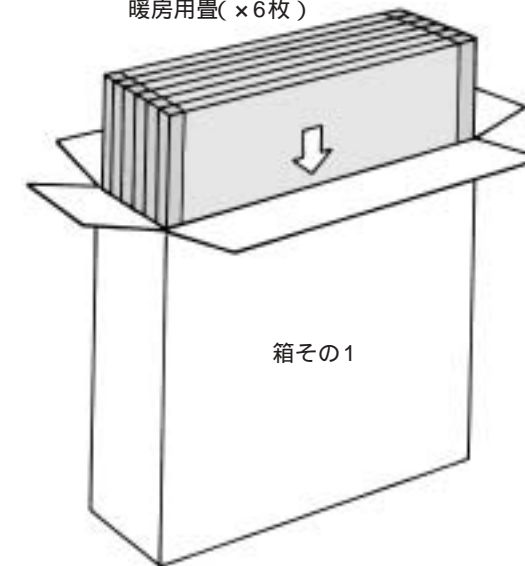
温度コントローラーを
引き抜いて下さい。

保護キャップを
差し込んで
ください。

② 組み立てた時と逆の手順で解体してください。

③ 箱に収納する。　収 納 手 順

■箱その1

暖房用畳(×4枚)

箱その1

■箱その2

ドライバー(同梱)

温度コントローラー

連結ステー

ネジA　ネジB　ネジC

ネジ類

木枠コーナー
継ぎ手(4個)

収　納　箱

ヒーターユニット(1枚)

木枠(8本)

収 納 箱

箱その2

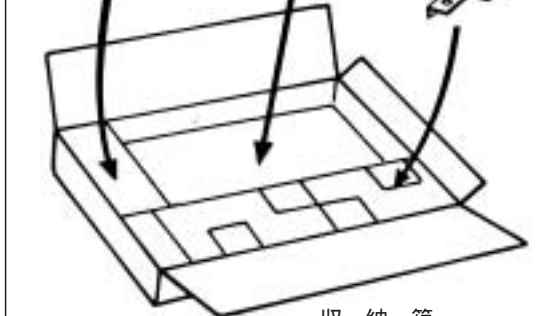
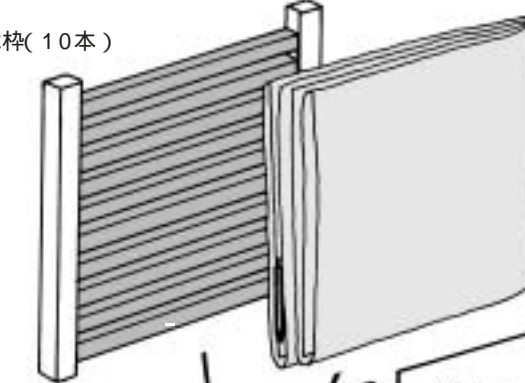
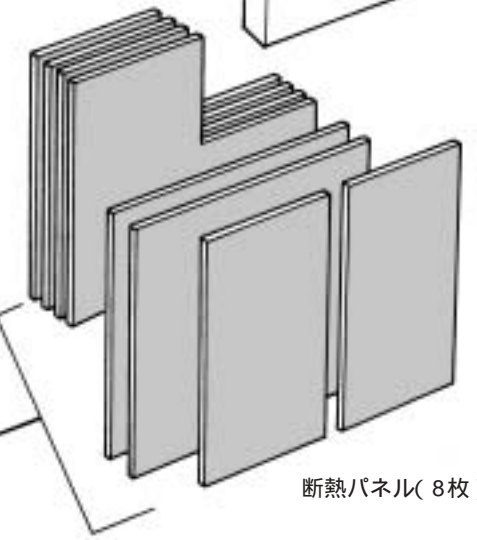
断熱パネル(5枚)

〈3畳用〉

①「日常のお手入れ」の要領でお手入れしてください。（P24参照）

温度コントローラーを
引き抜いて下さい。

保護キャップを
差し込んで
ください。

② 組み立てた時と逆の手順で解体してください。

◆ 仕　様

		DR6200	DR6300
定格電圧		AC100V（50−60Hz）	AC100V（50−60Hz）
定格消費電力		片面300Wまたは両面600W	片面470Wまたは両面940W
外形寸法		175cm×175cm×3cm	175cm×257cm×3cm
畳寸法		82cm×82cm×1.2cm	82cm×82cm×1.2cm
材質	畳表面	天然い草	天然い草
	ヒーターユニット表面	ポリエステル	ポリエステル
	木枠	天然木（集成材）	天然木（集成材）
電源コード		2.0m	2.0m
製品重量		約27kg	約40kg

	温度調節目盛	表面温度	標準消費電力量（1時間あたり）
DR6200	低	約30℃	約170Wh
	中	約38℃	約340Wh
	高	約42℃	約430Wh
DR6300	低	約30℃	約276Wh
	中	約38℃	約544Wh
	高	約42℃	約680Wh

◆ 保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書は販売店でお渡しいたしますから所定の事項の記入及び記載内容をご確認いただき大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日より１年間です。

補修用性能部品の保有期間

当社はこのホッと畳の補修用性能部品を製造打切り後、６年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

サービスを依頼される前に、この取扱説明書のＰ23に従ってご確認いただき、なお異常がある場合は、ご使用を中止し必ず電源プラグをぬいてからお買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間中は

〈持込修理対象品の場合〉
お買い上げの販売店まで保証書をそえて商品をご持参ください。保証の規定に従って販売店が修理させていただきます。

〈出張修理対象品の場合〉
お買上げ販売店まで品名、品番、お買上げ日、故障の状況（出来るだけ具体的に）ご住所、お名前、電話番号、修理ご希望日をご連絡ください。保証の規程に従って、販売店が修理させていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

●アフターサービスについてご不明な点は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはお近くの松下電工お客様ご相談窓口（取扱説明書裏面参照）にお問い合わせください。

愛情点検

長年ご愛用の電気暖房器の点検を！ —— 半年に１度は次の点を点検してください。——

ご使用の際このような症状はありませんか

- スイッチを入れても、ときどき運転しないことがある。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 運転中に異常な音がする。
- プラグ、コード、ヒーターユニット、温度コントローラーなどが異常に熱い。
- こげくさいニオイがする。
- 温度調節レバーを「低」にしても異常に熱い。
- その他の異常・故障がある。

▶ このような症状のときは、故障・事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。（ご自分では絶対に分解しないでください。）

実際に使用されるときは、室温、床など部屋の構造や使用状態により多少異なります。
●表　面　温　度…室温20°Cで木床に設置した状態で測定
●標準消費電力量…室温20°Cで木床に設置した状態で5時間通電した時の平均値